

き・ず・な通信



仙台市立小松島小学校
令和5年1月17日
第14号

きみたちは ずっと なかま

冬休みが明けて一週間が経ちました。年末年始で静まり返ってしまっていた学校に、子供たちの元気な声や姿が戻り、とても賑やかです。新年の目標を決めたり、新しい学年をよりよい気持ちで迎えるための心構えを先生から聞いたり、学年ごとに新年度に向けた準備をはじめました。子供たちは、令和5年（西暦2023年）も良き年にしようと、新たな気持ちで冬休み明けのスタートを切れたようです。



冬休み中やどんと祭で、お年玉など、高額のお金を手にした児童も多いかと思えます。冬休み前に配付した「冬休みのくらし方」でも記載させていただいたように、学校では「お金は何に使うか、おうちの人と計画を立ててから使いましょう。友達同士での、お金のやりとりはしません。ゲームやアプリ内でもお金がかかる時には、おうちの人と一緒にいきましょう。」とお話しています。ご家庭でも、引き続きお話をさせていただきますよう、よろしく願いいたします。

第3回 生活アンケートを行います

いじめ防止の取組として、年3回のアンケート調査を行っておりますが、その第3回目を1月23日（月）に行います。いじめの事案については、保護者の皆様にご了解を得てから該当児童への聞き取りを行っています。ただし、アンケートの内容によっては事案の内容をできるだけ早く把握するために、直ちに児童への聞き取りを行うこともありますので、ご了承くださいませようお願いいたします。児童から聞き取った内容については、保護者の皆様に必ずお伝えいたします。

いじめの事案については、担任及び担当だけでなく、初期段階から学校全体の組織対応を行っています。このアンケートの内容だけに限らず、少しでもおかしいと感じたり、何か不安に思ったりすることがあればいつでもご相談ください。

～自死予防に向けた取組のお願い～

冬休み等の長期休業明けにかけて、児童生徒の自死が急増する傾向があることが指摘されています。インターネット上にそれらをほのめかすような書き込みがされたり、SNS上におけるトラブルに巻き込まれたりすることからも、その兆候の発見につながります。

保護者の皆様におかれましては、お子様の見守りをより一層行うとともに、そのような悩みや変化に気付いた場合は、ぜひ学校へご相談いただきますようお願いいたします。また、「24時間子供SOSダイヤル」等の電話相談窓口（裏面参照）もありますので、状況に応じて活用くださいますようお願いいたします。